

政治②「基本的人権の尊重」

平等権・自由権 C

🕒 7分

1. 次の表は、日本国憲法の規定をもとに、人権についてまとめたものである。これを見て、あとの問いに答えなさい。

人権の種類	内容
X	個人の尊厳、法の下 ^{もと} の平等、両性の本質的平等。
自由権	ア <small>どれいてきこうそく</small> 奴隷的拘束および苦役からの自由、 <small>はんざいそうさ</small> 犯罪捜査や刑罰 <small>けいばつ</small> を受ける人への人権保障。
	イ 思想および良心の自由、信教の自由、集会・結社・表現の自由、学問の自由。
	ウ 居住・移転・職業選択の自由、財産権の保障。
社会権	生存権、教育を受ける権利、勤労の権利、団結権、団体交渉権 ^{こうしゅう} 、団体行動権(争議権)。
人権を守るための権利	参政権(選挙権 ^{せんきょけん} 、請願権 ^{せいがん} など)、請求権(裁判を受ける権利、国家賠償請求権 ^{こくかばいしょうせいきうけん} 、刑事補償請求権 ^{けいじほしょうせいきうけん})。
新しい人権	<small>かんきょう</small> 環境権、知る権利、プライバシーの権利、自己決定権など。

(1) 人権について説明した次の文章中の()にあてはまる語句を漢字3字で答えなさい。

近代から、人権は、人間であれば生まれながら当然に有するものと解釈されるようになった。このような意味合いから、人権のことを、とくに「()人権」とよぶこともある。

[1]

(2) 表中のXについて、次の問いに答えなさい。

① Xは、あらゆる人権の基本となるものと位置づけられている人権である。この人権を何というか。

[2]

② Xの人権によって、人々には個人の尊厳や平等が保障されることになっているにもかかわらず、現実の社会には、さまざまな差別がはびこっている。日本で問題となっている差別のうち、江戸時代に強化された身分制度によって住所や職業を制限された人々への差別が今日まで続いているものを、何差別というか。

差別 [3]

次ページにつづく▶▶▶

- (3) 表中に自由権として示したア～ウには、経済活動の自由、(生命・)身体の自由、精神(活動)の自由のいずれかがあてはまる。ア～ウにあてはまるものをそれぞれ答えなさい。

ア	[4]
イ	[5]
ウ	[6]